

## 新豊田駅東口駅前広場（新とよパーク）リニューアル整備

愛知県豊田市／平成31年 竣工

駅前広場の一部（道路用地）を日常的にストリートスポーツの若者であふれる広場へとリニューアルするプロジェクトです。駅前の好立地でありながら、人が滞留しづらい暗い印象であった空間を、日常的にストリートスポーツの若者であふれる広場へとリニューアルし、まちに賑わいと活気が生まれました。

ワークショップや実証実験を通じ、多様な市民が様々なアイデアと自由な空間のあり方を検討し、リニューアル設計に反映していきました。まちなかで敬遠されがちなスケートボードについては、地域のスケートボードのリーダーの方も利用者組織の一員として検討段階から参画し、利用方法やマナー等の徹底化を図ることで、まちなか全体でスケートボードができる空間が広がりました（河川敷や公共の多目的駐車場等）。

広場運営の第1弾ステップとして、市が事務局となる「運営組織（利用者チーム、企業、商店街、自治会等）」による運営（2019～2021年）を実施しながら、将来の民間（利用者チーム）が主体となる運営組織づくりが進められています。

### 事業概要

- 所在地：愛知県豊田市若宮町8丁目7番
- 土地面積：約1,200㎡
- 事業主体：新とよパーク・パートナーズ、豊田市
- 主要施設：コンクリートエリア（スケートボード・BMX等が可能）、土エリア・築山エリア（テント等設置やBBQ、焚火が可能）、ベンチ、テーブル、散水栓、電源BOX、備品倉庫
- 事業スキーム等：公共施設リニューアル

### 取組のポイント

- 利用者（プレイヤー）との対話や実証実験に基づいた空間設計
- 利用者組織（新とよパーク・パートナーズ）と行政との適切な役割分担による「広場の自由な利用」・・・スケートボードや火気の使用等
- 利用者組織（新とよパーク・パートナーズ）による持続可能な運営を目指した段階的な取組

